

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	野津田公園		
施設概要	【所在地】 町田市野津田町2035 【開園年月】 1990年10月1日 【建物面積】 398,268.98㎡ 【施設内容】 運動施設(陸上競技場(トラック、フィールド、インフィールド)、多目的広場、野津田球場、野津田公園テニスコート、上の原グラウンド)、上の原管理事務所、屋外トイレ棟、見学施設(ばら広場、村野常右衛門生家)、園地施設(芝生広場、わんぱく広場、展望広場、湿生植物園、炭焼窯、ミヅキ広場、耕作地、駐車場)、小野路屋敷、倉庫、借地民有地、緑化スペース、機械室、防災貯水槽		
設置目的	豊かな自然環境を保全し、運動施設を有効活用することによって市民のリラクゼーションとスポーツ振興、心身健康維持・増進を図るため。		
設置根拠法令・条例	都市公園法、町田市立公園条例		
所管部課	都市づくり部公園緑地課	問合せ先	042-724-4399
施設ホームページURL	https://www.nozuta-park.com/		

(2)指定管理者

指定管理者名	日本体育施設株式会社・一般財団法人町田市体育協会共同事業体 ＜スポーツパークパートナーズまちだ＞	法人番号	なし
指定管理者所在地	(代表団体 日本体育施設株式会社) 東京都中野区東中野3-20-10		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	運営業務……都市公園の運営、有料施設の貸出し等 維持管理業務……施設の維持管理、園地の維持管理等 自主事業……公園の活性化や利用者サービスの向上に繋がる事業 利用料金の徴収等……券売機の利用料金収納等 その他の事業……各種報告書の作成・提出、事故の対応・報告等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
野津田公園で「スポーツで人とまちが一つになる」ような、町田市を象徴するイベントの企画	2023年度	マラソングランドチャンピオンシップ 応援イベント(9月15日)の実施
園内サインシステムの充実	2023年度	検討中
新規事業の実施(セグウェイツアー、大型映像装置を活用した自主事業、音楽イベント等)	2023年度	大型映像装置を活用した顕微鏡体験教室(8月24日)の実施

3. 昨年度の課題

内容	・野津田球場の利用者数、稼働率の向上 ・改善された上の原グラウンドの活用
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>B</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	マラソングランドチャンピオンシップの応援イベントについて、市関連部署や各種団体との連携や、提案内容でもある大型映像装置の活用などを図り実施した。 昨年度の課題であった野津田球場の利用率については、新型コロナウイルス感染症の影響による大会の中止などにより減少したものの、上の原グラウンドについては、ハイブリッド天然芝の整備により利用環境が変わったこともあり稼働率は上昇し、良好な活用を図った。 昨年度に引き続き、園内で様々な工事が実施されていたが、公園利用者や工事施工者との調整をよく行い、大きな混乱なく臨機応変に業務を遂行した。 施設稼働率について、テニスコート及び上の原グラウンドの利用率は、それぞれ94.3%、97.8%と高い水準であるため、引き続き野津田球場の利用率(38.8%)を上げることが課題となる。新たな事業展開や新規利用者の獲得などを図り、目標を達成できるよう努める必要がある。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	・町田市出身のマラソンランナー(大迫傑、関根花観選手)が出場するオリンピック出場権をかけた、マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)の応援イベントを市の要請により、多種のコンテンツ(大型映像装置でのパブリックビューイング、タスキリレー、ブラスバンド応援など)を町田市役所関連部署、近隣の大学、高校や市民団体などと連携を図り、総合的にプロデュースする大掛かりなイベントを執り行ったところ、多くの市民が参加、乗場し賑わうと共に、本イベントが主要なテレビ局で放映され、町田市のPRに貢献できた。 ・台風15号(9/8～9)、19号(11/12～13)の襲来により、市の要請で、陸上競技場の会議室に避難所を開設し、避難者の受入を行った。19号襲来時には最大150人を超える避難者が来所し、避難者には、備蓄品(飲料水やカバン、エアーマットなど)の提供を行い、避難勧告が解除されるまで対応を行った。 ・町田市発注のバックスタンド増設工事に伴い、公園利用に支障を来さないように、市の工事担当部署及び施工業者と密な情報共有を行い、工事による規制情報の利用者への提供や施工業者への公園利用状況の情報提供による安全対策の徹底など、円滑な工事施工と公園利用の調整を行った。	

## 【評価対象年度 2019年度】

### 5. サービスの質に関する評価

#### 【利用者アンケート調査】

調査概要	<b>【調査期間】</b> 2019年10月5日～12月1日 <b>【配布枚数】</b> 440 <b>【回収枚数】</b> 381 <b>【回収率】</b> 86.6% <b>【調査方法】</b> 聞き取り調査と、施設利用者へアンケート用紙を配布し、回収箱へ投函を依頼
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	回答結果の「満足」「まあ満足」の割合 A: 90%以上 B: 70%以上90%未満 C: 70%未満	90%	93.8%	<b>A</b>	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	90	90	90	90	90
実績値	93.8				

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
施設稼働率(野津田球場、上の原グラウンド、野津田テニスコートの年間施設利用率) ※陸上競技場は除く	A: 90%以上 B: 70%以上90%未満 C: 70%未満	90%	77.0%	<b>B</b>	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	90	90	90	90	90
実績値	77				

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
自主事業参加人数	A: 17,000人以上 B: 14,000人以上17,000人以下 C: 14,000人以下	17,000人	15,232人	<b>B</b>	
指定期間内における実績(単位: 人)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
実績値	15,232				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
<b>B</b>	施設稼働率について、テニスコート及び上の原グラウンドの利用率は、それぞれ94.3%、97.8%と高い水準であるため、野津田球場の利用率(38.8%)を上げることが課題となる。自主事業については、昨年度に引き続き市と連携した「グリーンフィールドオータムフェスティバル」を開催し、市内外から約7,000人の来園者があった。その他、概ね水準どおりである。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2019年度】

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	条例・規則の遵守	利用時間、休館日・休場日、利用料金は条例・規則を遵守している。	条例・規則等を遵守し、運営した。	適
	有料公園施設の貸し出し	施設案内予約システムの管理運営のルールを厳守している。	ルールを厳守し実施した。	適
針・設の管の理運方針	植生管理	仕様書にある作業計画表どおりの管理ができています。	利用状況や生育特性及び植生調査に基づく環境把握により、生物多様性の保全に配慮した作業を実施した。	適
	施設・設備の維持管理	仕様書にある作業計画表どおりの管理ができています。	業務計画に基づき適切な管理を行った。	適
自主事業	自主事業の実施	計画に基づいて自主事業が実施されている。	年度事業計画に示した実施計画及び年度途中で提案した企画書に基づき実施した。	適
	自主事業の協議・報告	自主事業の協議・報告がされている。	事前の事業企画書、実施後の実施報告書により、協議・報告を行った。	適
情報公開・個人情報保護	情報公開の体制	情報公開請求に対する体制が整っている。	請求に備え、必要な書類は保管場所を決め、管理していた。	適
	個人情報保護	重要書類は保管庫にて施錠管理されている。	個人情報に関する書類は保管庫にて施錠管理していた。	適
要望対応	要望、苦情の報告	市にすべて報告を行っている。	苦情・要望は対応方法と合わせてすべて報告していた。	適
	要望、苦情の記録	要望・苦情内容、対応内容を記録している。	苦情・要望は対応方法と合わせてすべて報告書に記載していた。	適
危機管理	災害等緊急時の体制	災害時における対応ルールが決められている。	リスク管理・危機管理対応マニュアルを作成し、基本的な対応方策を作成していた。	適
	危険箇所の把握	危険箇所発見に向けた取り組みを行っている。	日常巡回の頻度を高めるとともに、防犯カメラや定期一斉巡回により、危険箇所等の早期発見に努めていた。	適
人的安定性	人員配置	事業計画書どおりの体制が整っている。	年度事業計画に基づく人員体制を整え、職種ごとの的確な人員配置を行っていた。	適
	研修体制	研修会が実施されている。	スタッフへの研修は、代表企業本社が立案する教育プログラムに基づき、救急救命講習や技術講習会への派遣などにより、随時、実施している。	適
管理経費の縮減	施設維持費の縮減	施設維持費縮減を実施している。	無駄のない消耗品購入や自前修繕等経費節減を実施した。	適
	光熱水費の縮減	光熱水費縮減を実施している。	日常の節電、節水及び運動施設使用団体等へ依頼し節減を実施した。	適
地元貢献	地域交流	地域、関係機関、ボランティア等との交流を行っている。	町内会や関連団体等のイベント参加協力や教育機関のインターンシップ等の職場体験受入、市民団体及びボランティアとの協働で維持管理を行った。	適
	市内業者の活用	資材調達等を市内の業者から行っている。	市民在住のスタッフの雇用と資材購入、外注工事等の市内事業者への委託を行った。	適

【評価対象年度 2019年度】

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	要求水準を満たしていることを、事業報告書、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	年度	2019		2020		2021		2022		2023	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	150,200	160,319	149,441		148,770		148,109		147,456	
	利用料金	27,500	28,975	25,650		25,700		25,750		25,800	
	駐車場利用料金	14,000	13,763	14,100		14,200		14,300		14,400	
	自主事業	10,640	9,059	10,740		10,840		10,940		11,040	
	その他	3,000	4,033	3,050		3,100		3,150		3,200	
	計	205,340	216,149	202,981	0	202,610	0	202,249	0	201,896	0
支出	人件費	58,080	56,175	58,080		58,080		58,080		58,080	
	維持管理経費	136,472	147,493	134,013		133,543		133,081		132,629	
	自主事業	10,560	6,117	10,510		10,460		10,410		10,360	
	その他	148	340	148		148		148		148	
	計	205,260	210,125	202,751	0	202,231	0	201,719	0	201,217	0
総計(収入-支出)		80	6,024	230	0	379	0	530	0	679	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	5.0				
負債比率	64.8				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	イベント開催業務の追加や、台風による緊急対応のため予算を上回る決算となったが、指定管理事業は概ね適切な執行であり、安定的に運営できていた。また、公園内の施設改善に役立てるため、自動販売機収入全てを指定管理者の収入とせず、うち3,000千円を指定管理業務の収入として充てていた。